電気足温器（家庭用）

品番　YAS-S51

取扱説明書《保証書付》

このたびは弊社の電気足温器をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。

- この「取扱説明書」、特に1・2・3頁の「安全上の注意」を必ずお読み頂き、正しくお使い下さい。尚、お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管下さい。
- 「保証書」の記入を必ずご確認下さい。

もくじ

仕様

品番	YAS-S51	
定格	交流100V 20W	
寸法	約42cm×42cm	
重量	約500g	
表面材質	ポリエステル　100%	
コード	ビニールキャブタイヤコード　約1.5m	
	測定値	
温度調節目盛	弱	強
電気代(1時間あたり)	約0.3円	約0.4円
消費電力量(1時間あたり)	約10Wh	約15Wh
表面温度	約35℃	約42℃

・表面温度や消費電力量は、日本電機工業会の測定方法に基づき測定した値であり、電気代はめやすとして1kWh、27円として計算しております。
ただし、電力会社及びご家庭の電力使用量、器具の使用条件などにより多少異なります。
・実際に使用されるときは、室温や床面など部屋の構造や使用状態により多少異なります。

※この商品は日本国内専用です。国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上のご注意

★ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
★ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」・「警告」・「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠危険:人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
⚠警告:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠注意:人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

＜記号の意味＞
△記号は、危険・警告・注意を促す内容を表わしています。(図の中に具体的な注意内容が描かれています。)
⃠記号は、行為の禁止を表わしています。(図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。)
●記号は、行為の強制や指示の内容を表わしています。(図の中に具体的な指示内容が描かれています。)

★お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 危　険

低温やけどや脱水症状をおこす恐れがありますので
次の様な方は、ご使用にならないでください。

- 乳幼児･お年寄り･ご病人･身体の不自由な方･皮ふの弱い方。
- 深酒をされた方や、疲労の激しい方。
- 眠気をさそう薬(睡眠薬・かぜ薬など)を服用された方。

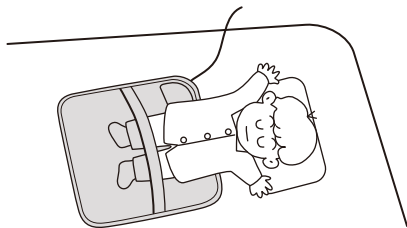
低温やけどについて

普通のやけどは、火や熱湯などの高温なものに皮ふが触れておこりますが、40℃～60℃の比較的低い温度においても皮ふの同じところが長時間触れていると、赤い斑点や水ぶくれができることがあります。これが低温やけどです。

※万一、低温やけどをされたときは、ただちに専門医の診断を受けてください。

⚠ 警　告

就寝用暖房器具として使用しないでください。
あんか代わりに使用しないでください。

- 低温やけどや脱水症状をおこす恐れがあります。
- 事故(火災等)や故障の原因となります。

⚠ 注 意

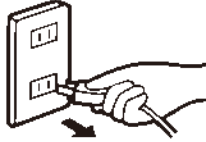
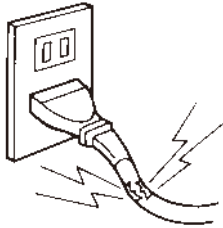
電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- 感電やショートして発火することがあります。

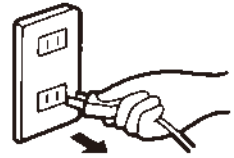
電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントのさし込み口がゆるいときは使用しないでください。又、コンセントのさし込み口の所に、ほこりやごみ等がある時は、必ず取り除いてください。
- 感電やショート・発火の原因となります。

電源コードを傷つける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを乗せる・挟み込む・本体の下を通すなどしないでください。

収納する時に、電源コードを本体に巻きつけない。

商品を折り曲げたり、丸めたりして収納しない。
- 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

船舶の電源・交流200Vや直流電源など交流100V以外では使用しないでください。
海外では使用できません。
- 火災・感電の原因となります。

他の暖房器具（電気毛布、湯たんぽ、電気こたつ、電気カーペット等）との併用はおやめください。
- 事故（火災等）や故障の原因となります。

分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。
- 電気容量がオーバーすることがあり、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

コントローラーに水やお茶、ペットの尿等の液体物をこぼしたり、強い衝撃をあたえないでください。また、水まわり（キッチンやトイレ等）には使用できません。
コントローラー部を踏まないでください。
- 過熱・故障の原因となります。ただちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。

⚠ 注　意

座布団など保温性のよいものや、タンスなど重いものをコントローラーや本体の上に置かないでください。

- 部分的に温度が高くなり、ヒーター線をいためたり、熱で置いたものや床材をいためる恐れがあり、又、故障の原因になります。
- 部分的に保温した状態で長時間使用されますと、本体がヒーター線に沿う形で変色し、故障や床面（畳・フローリング等）の変色・変形の原因となります。

禁 止

ナフタリンなどの防虫剤は使用しないでください。

- 本体やコントローラーをいため、過熱することがあります。

禁 止

●二ツ折りに重ねて使用しないでください。
●本体にシワが入ったまま使用しないでください。
●凸凹・段差のある場所では使用しないでください。
●靴やサンダル・スリッパ等で使用しないでください。

- ヒーター線をいため、火災や故障の原因となります。

禁 止

●針やピンなどでさしたり、刃物で傷つけないでください。
●厚い座布団・布団・クッション・ソファー・ベット等柔らかい物の上では絶対に使用しないでください。

- ヒーター線をいため、感電や火災の原因となります。

禁 止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

分解禁止

ベンジン・灯油・スプレー缶・カセット用ガスボンベなどを本体の上や近くに置かないでください。

- 爆発・火災の原因となります。

禁 止

犬や猫などのペットの暖房用には絶対使用しないでください。

- ヒーター線や電源コードをいため火災の原因となります。

禁 止

アイロン台として使ったり、電熱器具（ホットプレートやトースターなど）やガスコンロなどを上に置いて使用したり、ストーブの近くや上で使用しないでください。

- 電熱器具やガスコンロが過熱したり、熱で本体をいため発火の原因となります。

禁 止

ご使用になる前に

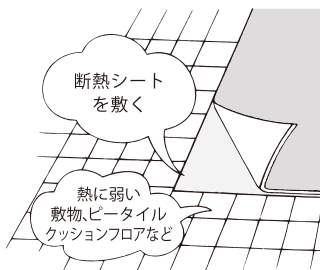
本体の敷きかた

⚠ 注　意

水のかかりやすい場所では絶対に使用しないでください。
- 感電の危険や本体をいためます。

土足の場所では絶対に使用しないでください。
- 本体をいためます。

段差のない平らな場所に広げて敷いてください。
- 巻いたり折りたたんだままで使用すると、本体をいためます。

熱に弱い敷物や床面・熱をとられやすいフローリング床面等で使用するときは、本体の下に市販の断熱シートを敷いてください。
- 熱による床面の変色･変形･割れ･隙間の発生を防ぎ、断熱効果もあります。
- 塩化ビニール製クッションフロア の上で使用すると、変色・変形の原因となります。

各部のなまえと使いかた

電源プラグをコンセントにさし込みます。

- 交流100V･7A以上のコンセントに根元まで確実にさし込んでください。

⚠ 注　意

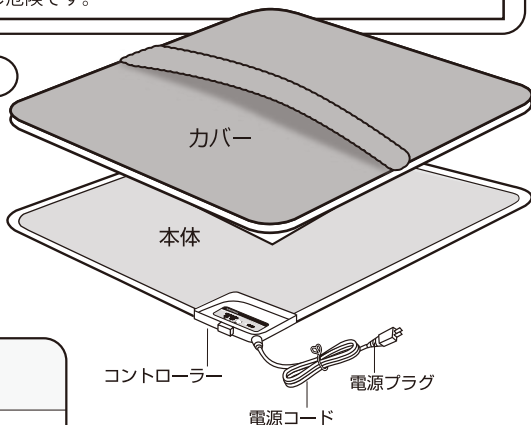
コンセントのさし込み口がゆるいときは使用しないでください。
- 過熱し危険です。

ご使用後は､電源/温度調節ツマミを「切」にしてください。

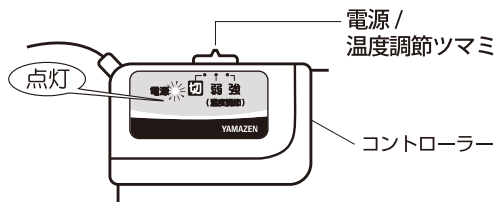
⚠ 注　意

専用カバーを必ず付けて使用してください。

⚠ 注　意

外出時や長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

「電源/温度切換ツマミ」をお好みで「弱」及び「強」にします。

- 電源ランプが点灯して､電源の入っていることを知らせます。

禁 止

コントローラーを踏みつけたり強い衝撃を与えないでください。
- 故障や事故の原因となります。

正しい使用例

- 足温器として

お手入れのしかた

※お手入れ前に必ず電源プラグを抜いてください。
※本体は、丸洗いやドライクリーニングはできません。
※アルコール・シンナー・ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。

本体のお手入れ

- コントローラー・コードの汚れは、水やうすめた中性洗剤をやわらかい布にふくませ、よくしぼってからふきとってください。
- 表面のほこりやごみは、電気掃除機でていねいに吸いとってください。

- 汚れがついたときは、次の手順でお手入れしてください。
  1. すぐにティッシュペーパーなどでふいてください。
  2. ぬるま湯でうすめた中性洗剤（食器用）を布やスポンジにふくませ、しぼってから汚れをふきとってください。
  3. ティッシュペーパーで洗剤と汚れをよく吸いとってください。
     2と3を交互に繰り返してください。
  4. 布に水やぬるま湯をふくませ、しぼってから洗剤が残らないようによくふきとり、自然乾燥してください。

⚠ 注　意

コントローラーをぬらさないでください。
- 過熱・故障の原因となります。
- 水まわり（キッチンやトイレ等）には使用できません。

■中性洗剤の量は汚れの程度によって加減してください。
■市販のカーペットクリーナーもご使用になれます。
■お手入れ後や水をこぼしたときは、表面・裏面とも十分に自然乾燥してください。（陰干し）
■特に、色のついた飲料（コーヒー、紅茶、コーラ、緑茶等）の場合、乾燥不十分のまま使用されますと、ヒーター線に沿う形で、本体表面が茶褐色に変色する場合がございますので、ご注意ください。

カバーのお手入れ

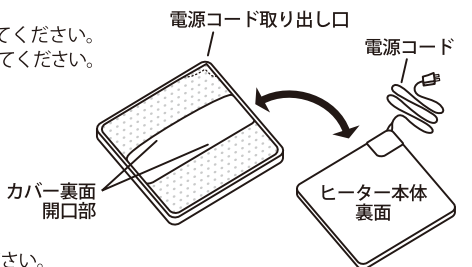
■カバーの装着方法

- カバー裏面の開口部から、ヒーター本体をセットしてください。
  電源コードはカバーの電源コード取り出し口から出してください。

■カバーは取り外して手洗いができます。

- 取り外しの際はカバー裏面の開口部から、
  ヒーター本体を丁寧に取り出してください。

■カバーの洗い方

- このカバーは手洗いができます。
  シーズンの終りや、汚れがひどい場合に洗濯してください。
- 30℃以下のぬるま湯に洗濯用液体中性洗剤を使用し、
  押し洗いしてください。
- 入浴剤の入ったお湯は使用しないでください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 洗剤が残らないように充分すすいでください。
- ネットに入れて、脱水機で 30～60 秒程度脱水してください。
- 乾燥は風通しの良い場所で日陰干ししてください。
- 乾燥機や直射日光での乾燥はおやめください。
- アイロンは使用できません。

⚠ 注　意

カバーが完全に乾かないうちに、
ヒーター本体をセットしないでください。
故障の原因となります。

次のような場合には

■次のような異常があったり、状態になったときはただちに使用を中止し、お買上げの販売店に
点検・修理をご依頼ください。

使用前に次のような異常があったとき	使用中に次のような状態になったとき
■コードの損傷。（被覆のすりきれ・ひび割れ） ■コントローラーや操作部の破損。 ■本体が破れたり、すりきれているとき。 ■本体の表面が熱により部分的に変色しているとき。	■本体が異常に熱いとき。 ■ときどき暖かくならないとき。 ■電源プラグやコンセントが熱くなりすぎるとき。 ■コントローラーに ●水やお茶などをこぼしたとき。 ●強い衝撃をあたえたとき。 ■取扱説明書どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

お手入れと保管のしかた

1．保管前のお手入れ
- 食物のカスや汁などが付着したままですと、保管中にカビや虫が発生する原因になりますのでよくとり除いてください。
- ナフタリン等防虫剤の使用は、発熱体やコントローラーを傷める恐れがありますので使用しないでください。

2．湿気の除去
- 次のシーズンまで保管される時は、陰干しして十分乾燥させてください。

3．保管
- お買上げ時の袋に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。
- 保管される時は、本体の上に重いものを置かないでください。ヒーター線、コントローラー 等を傷める原因になる事があります。

アフターサービスについて

製品の保証について

1 この電気足温器には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2 保証期間はお買い上の日から１年間です。保証書の記載内容によりお買い上の販売店が修理いたします。修理のときは販売店へ持ち込みをお願いいたします。
くわしくは保証書をご覧ください。

3 保証期間中の修理など、アフターサービスについておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

4 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品について

当社はこの電気足温器の補修用性能部品を製造打切後､最低6年間保有しております。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

★長年ご使用の電気暖房器の点検を！　（毎年シーズン前に次の点を点検してください。）				
ご使用の際こんな症状はありませんか	● 電源を入れても、時々運転しないときがある。 ● コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ● 運転中に異常な音やこげ臭いにおいがする。 ● プラグ、コード、本体、コントローラーなどが異常に熱い。 ● その他の異常や故障がある。	➡	ご使用中止 販売店へ連絡	すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。そのままの状態で使用しますと、感電や火災の事故原因や故障になります。 （ご自分では絶対に分解しないでください。）

★点検･修理についての費用などくわしいことは販売店にご相談ください。★